

大船渡発

消火活動に散水車を活用



道路清掃の散水車を使った消火用水の供給訓練が大船渡で行われました。訓練は大船渡市と地元企業の間

で締結された協定を踏まえたもので、この散水車1台で1回、10トンの水を供給することができます。山林火災や大規模火災での活用が期待されていて、参加者たちは火災に備えた連携の重要性を確認していました。(6/28 ニュースエコー)

釜石発

気温 35.7 度！猛暑日に

県内各地で厳しい暑さとなったこの日、釜石では最高気温が 35.7 度まで上がり、今年初の猛暑日となりました。道行く人は日傘を差したり、冷たい飲み物を飲んだりして暑さをしのいでいました。この暑さは停滞する梅雨前線に南から温かく湿った空気が流れ込んだため、釜石ではフェーン現象も加わったと見られます。(6/29 ニュースエコー)



大槌発

JR大槌駅 再建へ



震災の津波で流失した JR 大槌駅の駅舎の安全祈願祭が行われました。新駅舎は大槌湾に浮かぶ蓬莱島をイメージしたデザインで、3メートルほどかさ上げされた以前と同じ場所に建設されます。完成は来年1月の予定です。大槌駅を含む JR 山田線の宮古・釜石間は三陸鉄道に移管され、来年3月に運行が再開されます。(6/29 ニュースエコー)

遠野発

遠野風の丘で感謝祭



東日本大震災の際、沿岸被災地に救援に向かう人たちの拠点の役割も果たした道の駅「遠野風の丘」が設立から20周年を迎え感謝

祭が開かれました。鏡開きでにぎやかに始まった感謝祭。東北の特産品を販売するブースが設けられ、訪れた人たちが味見をしながら買い求めていました。(6/30 ニュース)

大槌発

解体再開 めど立たず

大槌町が旧役場庁舎の解体に必要な届け出をしていなかった問題で、平野町長が町議会に陳謝しました。有害物質のアスベストの



調査が行われていないため解体工事は止まったままで、再開のめどが立たないことから一部の住民による工事の差し止めの仮処分申し立ても取り下げられました。(7/2 ニュースエコー)

陸前高田発

かさ上げの宅地引き渡し



陸前高田で、被災した住民への宅地の引き渡し会が行われました。気仙町の今泉地区の7世帯8人が参加し、

震災前とほぼ同じ場所にかさ上げされた造成地で、境界線や上下水道の説明を受けました。高田町と気仙町今泉地区の1464区画のうち、577区画が5月末までに引き渡されています。宅地造成は2021年3月末までに完了し、被災者に引き渡される予定です。(7/3 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中

詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>

IBC復興支援室事務局 019-623-3122